川づくり・清瀬の会

川づくり・清瀬の会は清瀬市を中心に活動し、多自然川づくりを実現させるための自治体への要望活動、魚類・水質調査、ゴミ拾いなどを実施しています。

■団体の概要

川づくり・清瀬の会は、空堀川・柳瀬川を中心に活動をしています。1998 年、柳瀬川の清瀬橋下流の改修工事計画に対して、「当時の天然護岸を少しでも残し、いい川づくりとしたい」との考えから、川に関心のある市民が集まり、柳瀬川流域ネットワークの清瀬ブロックとして活動を開始しました。2000 年に川づくり・清瀬の会を設立し、49 名の会員（2008 年 9 月現在）で活動しています。活動資金は 2,000 円の年会費の他、河川に関係する財団法人等の補助を利用しています。

■川まつり

2007 年までは、夏休みに 4 回、子供たちの川体験・川遊びを行い、その内のサタデースクールを流域の川まつりとしてきました。

また、近年の柳瀬川の水質および生態系の良さ、緑豊かな河川環境を広く市民の皆様に知っていただき、清瀬の多くの子供たちに川遊びの体験をさせたいとの思いから、市をあげての川まつりを清瀬市に提案しました。その結果、清瀬市・東京都、参加団体のそれぞれが役割分担をし、安全確保のための備品の寄付等の企業の協力のもと、実行委員会を設立し、事務局を清瀬市緑と公園課におき、2008 年、第一回川まつりが開催されました。

清瀬　川まつり
※川づくり・清瀬の会提供写真

■主な活動

河川改修計画に対して、清瀬に相応しい水と緑の調和の取れた、いい川づくりの提案をおこなっています。また、水と緑の保全活動、河川の清掃・帰化植物の除去、水辺を使った総合学習、生き物・水質調査等、流域と協働した活動を行っています。

クリーンアップ
※川づくり・清瀬の会提供写真

■空堀川改修計画への市民の目線から見た意見

「災害に強い川づくりは勿論のこと、河床幅を広くとり流れを固定せず、落差を極力少なくし、生物の生息環境を創出し上下流につなげる。降雨が少ない時期には瀬切れを起こし、ヒートアイランド化する空堀川の水量確保。市民が親しめ、"ふるさとの川"として誇れる、散策者に優しい木陰や緑の続く、魅力ある河川環境の創出。東京都の策定した柳瀬川流域河川整備計画案を生かした川づくりを！」等の意見をだしています。

クリーンアップ
※川づくり・清瀬の会提供写真